

鶴が丘だより

東京都町田市三輪緑山二丁目2133-1
医療法人社団鶴水会鶴が丘ガーデンホスピタル
院長 後藤 晶子
電話 044(988)3121(代)



地域ケア& サポート



立春も過ぎ、暦の季節は春にあたる3月になりました。ふきのとうや菜の花などの春のお便りをちらほら聞きます。暖かくなるのが待ち遠しいですね。

さて、今月の鶴が丘だよりでは、今までありそうでなかった「外来部門」と「訪問部門」についてご紹介いたします。

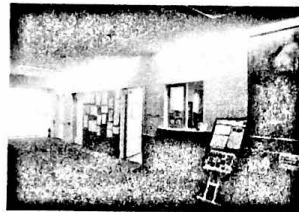
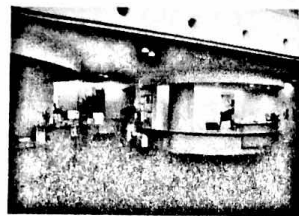
1. 「困った時の！」相談室

相談室



現在、窓口には5名の精神保健福祉士がいます。初診外来、入院の相談、障害者年金・手帳などの各種制度のご案内の他に、地域の施設を利用したい、どんな福祉

サービスがあるか、などの相談を受けています。こんなことで困っているけれど、どうしたらいいだろう？「誰に相談したらいいだろう？」この制度のメリット・デメリットは？など「困った時の相談室！」として、窓口だけでなく、電話での相談も行っています。



2. 「おもてなしの心で」

医事課



としていきます。「おもてなしの心」で丁寧かつ誠実な対応をこころがけていきます。

3. 「もっと気軽に」

外来



主に通院患者様の診療サポートをしています。医師の診療に基づき、採血、注射（インフルエンザ予接種種含）、処置などを行っています。更（13時～16時半）や町田市成人健診の受付、病棟のも含めた検体医療物品の管理など多岐に亘る業務を行っています。

院長をはじめ12名の医師が、患者様の状態を把握しながら診療を行っています。必要に応じて、デイケアや訪問サービスの導入をいたします。自分の症状や不安な点と、お薬の服用方法や具合が悪い時の対処法、困っていること、医師に聞きにくいなあと感じることで、遠慮せず主治医に話してみてください。そうなんだあ、とすんなり解決するかもかもしれません。少しでも心が落ち着き、穏やかな生活が送れるよう支援いたします。

4. 「私の生活の心強い味方」 ● 訪問看護 ●

今回初めて取り上げますので、詳しくご紹介いたします。

精神科訪問看護とは、精神に障害を持ちながら、地域で生活している方のお宅へ定期的に訪問をする事です。ご自宅へ伺い、生活の様子を把握し、ご家庭や地域社会で安心して日常生活を送る事ができるように、支援をさせていただきます。

身の回りのことや食生活に對して不安がある、薬がきちんと飲めていない、人付き合いが苦手、社会資源の活用の方がかかわらない、などなど。また、ご家族の方がか専者ほどの場合にかかわっていかかわらない場合の相談も受けています。



利用するには主治医の指示が必要になるので、まずは主治医や看護師にご相談ください。その後のオリエンテーションで日時や頻度を決めていきます。ちなみ、担当者は私服で訪問します。お楽しみにお待ちください。

入院中の患者様には、退院するにあたり、事前に自宅や社会復帰施設などを訪問することがあります。

「退院前訪問指導」という形で、退院後の療養上必要な指導や支援を行ってまいります。内容を左図にまとめました。



このように多岐に亘り、計画的にできるよう話し合いながら退院に向けて一緒に準備をしていきます。

退院後の暮らしについて不安に思っていることもひっきりなく、少しずつ進めていきますよう。

5. おわりに。

いかがでしたか？ 意外と知らなかったこともあったでしょう。少しでも参考になればと思います。

寒い日が続いており、また感染症に油断ができません。時期です。手洗い・うがいをして、体調を崩さないよう気を付けてお過ごしください。

〈文責 磯部〉



黒板

新年度に向けて、より親しみやすい、鶴が丘だよりになるよう、紙面の構成を検討しています。

来月号をお楽しみに！！

一年間ありがとうございました。
(平成26年度 編集委員 一同)